

SSH活動報告

サイエンスコミュニケーター活動の成果を小中学生に披露

SSHクラス3年生が1月24日に本校中等部1年生を、29日に港区立高輪台小学校6年生を対象にした、「理科のおもしろさ」を伝える体験型授業を行いました。

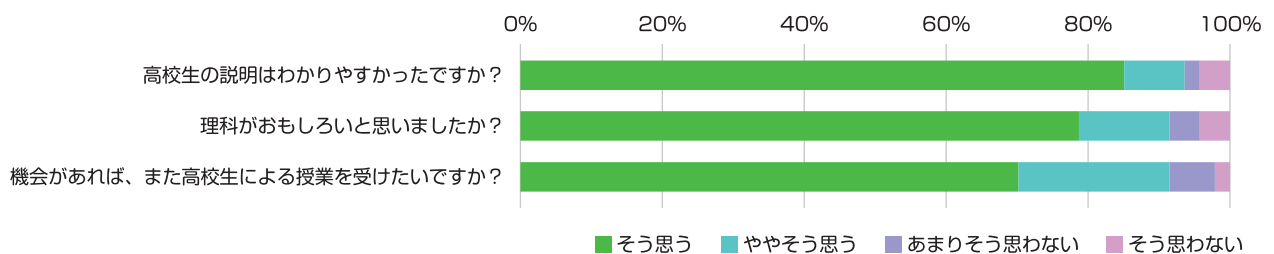


3年10組 笹山 ゆうこ

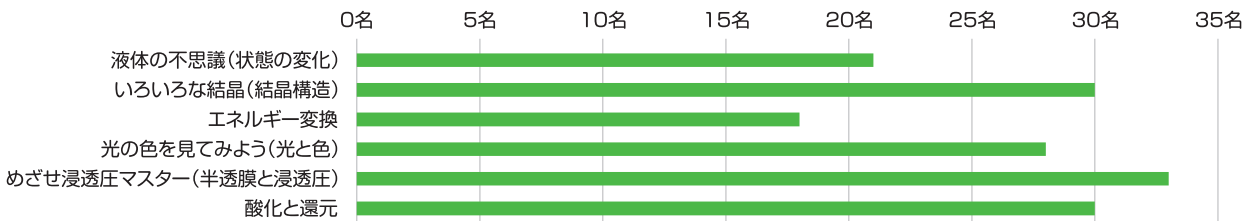
最後のSSH活動としてサイエンスコミュニケーター活動という小中学生に向けての授業を行いました。そのために、特別講座が始まってからの5・6時間目を使い、準備をしてきました。私たちの班では「エネルギー変換」をテーマにし、スターリングエンジンと手回し発電機という2つの実験も織り交ぜながら、理科の楽しさを伝えられるよう努めてきました。今まで授業を受ける側だった私は、人に教える立場がいかに大変かということを感じました。そして、この季節柄が本番へ近づくたびに体調を崩す生徒も多く、欠席者の分もフォローすることになりました。しかし、本番では純粋に楽しんでくれた小中学生に助けられ、緊張せずに発表することができました。

やはり、小中学生がまだ習っていない理科の内容をわかりやすく伝えることは難しかったのですが、興味を持って聞いてくれたので嬉しかったです。私にとっても、改めて人に伝えることの楽しさや大変さを学ぶ良い機会になりました。

高輪台小学校児童(47名)を対象としたアンケート結果



印象に残ったテーマ(複数回答可)



ガспロム附属教育センター(ロシア)とオンラインによる研究発表を実施

1月30日、ロシアの高校生とインターネット回線を利用した研究発表会を行いました。SSH3年生2名が課題研究の内容について英語でプレゼンテーションを行い、またガспロムの発表に対しても英語を使って質問をしました。



3年10組 メッサー 真秀

私は今回、最初で最後になるオンラインでの研究発表を行いました。Skypeを使って発表をしましたが、私としては同じ教室でプレゼンしていると思い込んで頑張りました。私は「避難シミュレーション」について発表しましたが、加藤さんのピオトープに関する研究やロシアの皆さんの発表も興味深く感じました。

発表前はとても緊張しましたが、皆さんが私に質問してくれて、私が発表した内容を理解してくれたということがわかり、安心することができたので、結果的には良い発表ができたと思います。しかし、どんな発表にも改善点はあると思います。近い将来に今回の反省を踏まえて、より良いプレゼンテーションを行うことを目指したいです。

このオンラインセッションはとても貴重な経験になったと思います。協力してくれた先生とロシアの皆さんに感謝しています。本当にありがとうございました。

付属高等学校・中等部科学研究成果発表会(2月16日/代々木キャンパス)に参加



3年10組 平柳 蓮奈

今回の付属校全体での発表会に私は初めて参加しました。中には2回や3回と参加している他校の生徒もいました。そのような中で発表することに正直不安や心細さを感じていましたが、「高校生の科学者」という同じ立場で物おじせず発表する他の高校の生徒たちを見て、見習わないといけないと思いました。

私の発表テーマは抗菌作用の相乗効果について調べたもので、生物に興味がある生徒や先生方からいろいろな質問やアドバイスをいただき、とても勉強になりました。今回スライドでの発表はありませんでしたが、機会があれば口頭発表もしたいと思いました。他の付属校の生徒と仲良くなる機会も設けてあり、非常に充実した会だったと思います。

今回参加させていただいたことは、付属校によって研究しているテーマに土地柄やその高校の個性が出ているとははっきりとわかるということで、とても興味深く感じました。